鎌倉史跡を巡る：12 月号　北鎌倉（常楽寺～多門院～高野/　　切通）コース

◎コース：①常楽寺(北条泰時墓、文殊堂、木曽義高墓）　～②多門院　～③六国見山への道（多門院切通～高野切通）　④北鎌倉周辺（昼食）　⑤東慶寺　～北鎌倉駅（解散）

◎〈常楽寺〉鎌倉北西の守護位置にあり、**北条泰時**が妻の母追善供養のため梵宇建立、行勇が供養導師を勤めた。泰時と蘭渓道隆所縁の古刹。本尊は**阿弥陀三尊像**。粟船御堂と呼ばれ大船の地名の由来と。泰時他界の際、粟船御堂に葬られ一周忌法会実施。**道隆**が建長寺開山以前の五年間、参禅求道者を集め**純粋禅の道場**として機能。『常楽は建長の根本なり』と尊崇された。**梵鐘**は、建長寺・円覚寺と共に**鎌倉三名鐘の一**。

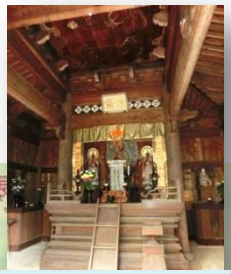
（多門院）（天衛山福寿寺多門院）：手広の**鎖大師・青蓮寺の二十九ヶ寺の一**。開基は関東管領上杉氏家臣：甘粕氏が、寺院脇の**熊野神社の別当寺院**として、元山ノ内瓜谷の観蓮寺を敷地内に再建。**本尊は毘沙門天**。

（六国見山への切通）周辺住民の富士講？の道として作道か。昔人の「富士山崇拝」の深さを感じながら？

（東慶寺）開山**覚山尼**は時宗妻。御醍醐天皇皇女五世**用堂尼**以来栄え**縁切り尼寺**として高い格式を誇った。**二十世天秀尼**は秀頼娘、家康孫娘千姫養女で徳川時代にも篤い庇護を受けた。多くの作家、学者が眠る。

常楽寺・山門前で

仏　殿



本尊阿弥陀三尊

文　殊　堂

秘仏・文殊菩薩坐像

木曽義高を祀る木曽塚

本尊毘沙門天を祀る本堂

多門院
脇に熊野神社山門

東慶寺
名残りの紅葉が綺麗でした！

六国見山登山道標

軟質凝灰岩掘削面の両壁は滑らかに整い、
歩道は落葉で敷き詰められていました

本尊・釈迦如来坐像

チョット気になる
五輪塔への道

六国見山登山道標